【人 権 講 演 会】

パパは女子高校生だった

～最高裁で逆転勝訴してつかんだ家族のカタチ～

講師 前田（まえだ）　良（りょう）　さん

とき １２月４日（金）１８時１５分～

ところ 矢部保健福祉センター 千寿苑



前田　良　さんの紹介

Like myself 代表として、LGBT のパートナーの情報交換、相談の場を提供している前田良さん。前田さんの講演では、性別違和を個性として捉えなおし、自分らしく生きられるようになるまで、また、2児の父親となるまでの感動の軌跡についてお話いただけます。性別違和の当事者やご家族の気持ちを理解する助けとなるだけでなく、人は自分に合う生き方をしていいのだと言う、大切なことを教えてもらうことができるお話です。

プロフィール

1982年に兵庫県に「女性」として生まれる。高校は県外の女子高校へ。

小さい頃から性に違和感を持っていた。

20歳の時、「性同一障がい」心と体の不一致と診断を受ける。その後名前を変え、パートナーと出逢い、性別を「男性」に戻して結婚する。AID（非配偶者間人工授精）により子どもを授かる。

ところが、「子どもと血縁関係がないのは明らかだ」とされ、父親として認められなかった。長男は2年間も無戸籍の状態にされる。法務省に署名や陳述書を出すなど、親子関係が認められるよう活動を続ける。

その後、東京家裁に「戸籍訂正許可申立」を行い、裁判を始める。東京家裁、高裁は「血縁を大事に」し却下、棄却という決定。しかし、最高裁にて大逆転の勝訴を勝ちとる！「ボクを父親として認める」という画期的な決定を手にする。ボクたちの家族のカタチを認め、「ボクは2人の子どもの父親」になった。

「間違った知識ではなく、本当のことを伝え知ってもらう」ため、全国のいろいろな場で、行政職員、教職員や保護者（地域）、子どもたちを対象に、講演活動を展開している。全国を家族と共に走り回っている。

入場無料
申込不要

山都町人権を考える
町民の集い
主催　山都町同和教育推進協議会
山都町教育委員会
電話　７２―０４４３